

留 学 報 告 書

留学先国	ドイツ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) ゲーテ大学 (英) Goethe University
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 2 月
留学した時の学年	3 年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	3 年生 (留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2025 年 3 月 17 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月

留学費用項目	現地通貨 (EUR)	円	備考
授業料	0 EUR		協定留学のため明治大学への学費のみ
宿舍費	275x6 ヶ月=1650 EUR		月額 275 ユーロ (約 45,000 円)
食費	120x6 ヶ月= 720 EUR		
図書費	0 EUR		
学用品費	40 EUR		ドイツ語の教科書
教養娯楽費	0 EUR		
被服費	100 EUR		冬用ダウンなど
医療費	0 EUR		
保険費	224 EUR	75,000 円	Care Concept 224 ユーロ 明治大学海外旅行保険 75,000 円
渡航旅費		260,000 円	往復航空券
雑費	150 EUR		布団やドライヤー等
その他 (消耗品)	100 EUR		化粧品や掃除道具等
合計	2,984 EUR	335,000 円	総合計 : 833,413 円 (1EUR=165円で計算)

渡航関連	
渡航経路	往路 : 成田からフランクフルトまで直行 復路 : フランクフルトからドーハを経由して羽田
渡航費用	チケットの種類 : 往復 合計 260,000 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
JAL	

滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
寮	
部屋の形態	☒ 個室 OR ☐ 相部屋（同居人数： ）
住居を探した方法	
手続きの際に案内される寮に申し込みました。 Ginnheimer Landstrasse42 の寮でした。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
私はここで過ごせてよかったです！ 理由は、値段の安さと、留学生が 1 番多く滞在する故の交流機会の多さです。 ただ階によって、電子レンジなどの設備不足や、キッチンをきれいに使わない人がいるなど運要素も強いです。 とにかく安いので、半年過ごす分には十分だと感じます。大学までも徒歩 30 分です。 先着順で、入れなかったという声も多く聞いたので、早めの行動を！	
現地情報	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
☒ 利用する機会がなかった ☐ 利用した：	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
特に問題は起こりませんでしたが、質問がある時は大体 Global Office にメールするか、友達に聞いていました。	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
特になし。 貴重品は常に持ち歩くし、カバンのファスナーは閉める。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？	
現地での資金調達はどのように行いましたか？	
閉鎖口座のお金で毎月生活していた。足りなくなったら、Visa のカードで支払っていた。	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
基本何でも調達できる。3 年秋学期での留学なら、就活関連のスーツや対策本はおすすめだけど、正直現地でも買える。日本のお菓子とかは喜んでもらえる。	

進路について	
進路	
☒ 就職 ☐ 進学 ☐ 未定 ☐ その他：	
進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など	
就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） 就職活動中です。内定先は JTB, サクラインターナショナル等 就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 今は WEB で面接や説明会があるので、時差を考慮する必要がありますが、留学中でも問題なく就活できます。むしろ、今時差があって朝の5時なんです！ってアイスブレイクすると興味をもってもらえて有利だったなと個人的には思っています。ただ、情報量は圧倒的に日本にいたほうが多く収集しやすいなと思ったので、留学前からこまめにキャリアセンに通ったり、就活の相談を本音でできる友達を見つけられれば最高だと思います。	

学習についてのレポート	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
16 単位（3 科目）	☒ XXX 単位（3 科目） ☐ 単位認定の申請はしません（理由： ）
履修した授業科目名（留学先大学言語）	DIA- Deutsch Intensivkurs für AustauschstudierendeA1.1
履修した授業科目名（日本語）	ドイツ語
科目設置学部	ISZ
履修期間	1 ヶ月
単位数	4 単位
本学での単位認定状況	XXX 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 360 分が 4 回
担当教員	Mehrana Moradi
授業内容	教科書メインでドイツ語の 4 技能を満遍なく扱う。初歩的な挨拶や自己紹介、趣味や日常生活などを話せるようになった。
試験・課題など	毎回教科書の練習問題を解いてくる課題がでた。試験は、プレゼンが 2 回と、パソコンでの文法テストがあった。
感想を自由記入	この授業で友達ができたり、ドイツの生活にも慣れて、本格的に授業が始まる前のウォーミングアップができたと思う。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Akademi A(Akademische Mittelstufe) A1.2
履修した授業科目名（日本語）	ドイツ語
科目設置学部	ISZ
履修期間	1 学期間
単位数	9 単位
本学での単位認定状況	XXX 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 2 回
担当教員	Djamila Lahreche
授業内容	教科書をもとにドイツの 4 技能をまんべんなく扱う。夏のドイツ語の授業の延長線で、基本的な日常会話をはじめとして、過去形の作り方や助動詞などを使った少し複雑な文法なども扱った。
試験・課題など	課題は毎回教科書の問題を解いてくることで、1 時間程度でできるもの。試験としては、プレゼンが 1 回と、ワード 2 枚分の文章を書いたり、問いに 50 文字程度で答える課題が出た。
感想を自由記入	この先生は、基本的にドイツ語で授業を進めて、英語で補足説明してくれる方だった。最初は大変だったが、徐々に慣れた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Migration, Integration, and Social Stratification
履修した授業科目名（日本語）	移住と統合と社会構造
科目設置学部	社会学部
履修期間	1 学期間
単位数	3 単位
本学での単位認定状況	XXX 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	セミナー
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教員	Rona Geffen
授業内容	移民に関して、家族構造や交友関係、人種など多角的な観点から学びディスカッションする。
試験・課題など	課題は毎週 20 ページの論文を読む。試験は 15 分のプレゼン。期末レポートを書けば、追加単位をもらえる。
感想を自由記入	課題が多くて大変でしたが（ドイツでは一般的な量）、先生の英語も聞き取りやすくとても優しかったので頑張れました。

留学に関するタイムチャート

2024年 1月～3月	・年末頃に留学の面接を受けた。
4月～7月	・6月に事務室主催の留学説明会に参加する。その後、留学先の先生にも繋いでいただき、履修登録の方法などを教えていただきました。 ・ドイツ語の勉強も少しだけ始めましたが、英語に注力していました（今振り返るともう少しドイツ語やっておけば良かったです）
8月～9月	・8月の後半にドイツ着 ・9月からドイツ語の授業が始まる。留学生向けのイベントが毎日あり、ほぼ毎日参加して友達づくりをする。
10月～12月	・10月の初めの週は大学が休みだったため、10日間の北欧旅行に行く ・10月の後半から本学期的授業が始まる。VISAの申請を10月に行い、取得できたのは1月。シェンゲン協定の3ヶ月がきれてしまい、12月は海外旅行にいけませんでした。
2025年 1月～3月	・2月の中旬に授業が終わる ・2月後半にロンドンキャリアフォーラムに参加し、就活する ・2月の月末に退寮し、その後約2週間ほど海外旅行する ・3月の後半に帰国、帰国後2日目から面接の日々
4月～7月	・4月からは、今まで通り明治で授業を受ける。 ・単位申請や帰国後の書類等の提出 ・就活

留学体験記

留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語はもともと SPICE に所属していたり、英語劇団体に入ること、コミュニケーション英語の向上に向けて準備していたと思います。一方で、ドイツ語の勉強は確実にもっとしてから行けば良かったと思っています。現地では問題なく英語で生活できますが、せっかくドイツ語を使える環境なのでもったいなかったと思います。あとは、もう少し漫画を読んでおけば良かったです！
この留学先を選んだ理由	自身の留学の目的である「多様なバックグラウンドをもつ人とたくさん関わりたい」が達成しやすいと考えた。移民国家なので、様々な人種の人が暮らしていたり、レストランもたくさんです。また、ゲーテ大学自体も学生の6分の1が留学生だったり、日本学部があったり、コミュニケーションがとりやすそうだと考えたため。（ヨーロッパという旅行のしやすい土地柄もとっても魅力でした。）

大学・学生の雰囲気	圧倒的に勉強に対する意欲の高さがあると思いました。授業中は積極的に発言するし、授業によっては生徒主体で進みます。テスト期間になると、図書館の席はあっという間に満席になるので、朝一番にいかないといけません。留学生が多いので、英語がちらほら聞こえます。みんなフレンドリーで優しいです。
寮の雰囲気	ほとんどの留学生がここの寮に泊まっているので、鍵を忘れちゃったりとか困ったことがあっても助け合えるのがよかったです。共同キッチンで一緒に御飯をつくったり、パーティールームを借りて誕生日パーティーをしたり、寮内でできた思い出もたくさんです。
交友関係	ドイツ語の授業で仲良くなった子が一番半年間を通して遊んでいました。ESN という留学生向けのイベントで知り合った子たちとも、旅行に行ったりご飯に行くことも多かったです。また、日本語学部のドイツ人のみんなにもとってもお世話になりました。
学習内容・勉強について	学部は日本学部にも所属していたので、歌舞伎など日本についても学びました。また、他学部履修で移民に関する授業も履修しました。毎週20ページのレポートを読まなければならない、最初は読み終えることすらできませんでしたが、コツコツと継続する工夫で、課題を終えることができるようになりました。プレゼンの際には、友達にアドバイスをもらったりもしました。
課題・試験について	わたしはテストは受けていなくて、プレゼンでの評価でした。20ページの論文をもとにして15分英語でプレゼンするのは初めてで、準備も大変でしたが、無事達成したあとの達成感がありました。毎日の授業の課題は、こつこつと2時間ほど時間を取って行っていました。
大学外の活動について	スポーツクラスでダンスを受講していました。積極的に留学生向けのイベントに参加するようにしていました。
ある平日のスケジュール	8時：起床 10時～14時：授業 14時：おそめのランチ 15時～17時：友達と勉強 18時：寮に帰宅し、友達とごはんをつくる 20時：自由時間、課題をしたり、Netflix をみたり 0時：就寝
ある休日のスケジュール	10時：起床 11時：ハイキングに向かう 12時：休憩兼ねてランチ 13時：ハイキング再開 18時：中心地に帰ってきて友達と食事 20時：帰宅、自由時間、課題や Netflix 0時：就寝
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」ということ	自分を過信しすぎないことだと思います。念願の留学で、挑戦したいことがたくさんあったり、学びたいこともたくさんあるけれど、なれない環境に順応するだけでも想像以上に体力を使います。ぜひ、たくさん挑戦する自分を褒めながらも、できないことがあったとしても無理をしすぎず、自分の体調と相談しながら留学を楽しんでほしいです！

初めて参加した留学生向けイベント



まさかのドイツで初めての将棋！

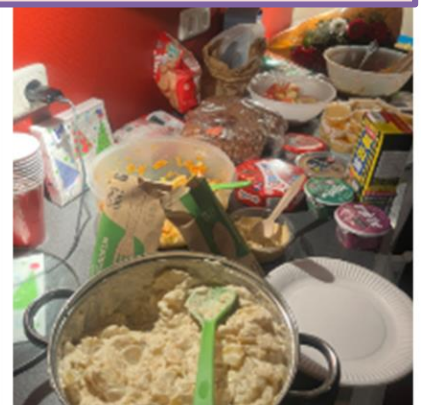


ドイツ語の授業でプレゼン



日本学部の学生と歌舞伎の公演

寮での友達の誕生日パーティー🍰



ミュンヘンのオクトーバーフェス🍺



Dirndl という南ドイツの伝統衣装



ミュンヘンで食べたドイツ料理🍷



本場のクリスマスマーケット! 🎄

ラトビア・リガ



リトアニアのトラカイ城

